

診断群分類の適切なコーディングに関する 委員会の現状と未来

細 木 雄 二

キーワード：国際疾病分類；施設基準；DPC導入の影響評価に係るデータ提出による入院基本料加算
(雲南市立病院医学雑誌 2019; 16(1): 165-166)

はじめに

診断群分類の適切なコーディングに関する委員会とは、標準的は診断及び治療方法について院内で周知を徹底し、適切なコーディング（適切な国際疾病分類に基づく適切な疾病分類等の決定）を行う体制を確保することである。

委員会の活動目的は、診断群分類の適切なコーディングに関することである。

活動内容は、(1) 診断群分類の適切なコーディングの総括、(2) 標準的な診断及び治療方法の周知徹底、(3) 適切な診断を含めた診断群分類の決定、(4) 適切なコーディングを行うための診療の分析及び改善、(5) 厚生労働省「DPC導入の影響評価に係る調査」で指摘・指導された項目等について改善するための対策、(6) 診断群分類の適切なコーディングに関する講習会の開催、(7) その他診断群分類の適切なコーディングに関し必要と認められる事項に関することである。

委員会の活動概要

当委員会の設置は、施設基準のデータ提出加算（入院基本料の加算）の要件であり、年2回以上の委員会の開催が必須要件である。また、地域包括ケア病棟入院料及び回復期リハビリテーション入院料の施設基準の要件もデータ提出加算の届出が必須である。

データ提出加算とは、厚生労働省が実施する「DPC導入の影響評価に係る調査」に準拠したデータが正確に作成及び継続して提出されることを評価したものであり、「DPC導入の影響評価に係る調査」に参加し、年4回（7月、10月、1月、4月）データ提出を行っている。精度の高いデータを求められるため提出後のデータの再確認が必要な場合は年4回再提出を行っている。そのため、当委員会の主な内容としては、

活動概要委員会の構成

平成25年5月に設置され、開催回数は年2回以上（不定期）。委員会の構成は、情報管理課長を委員長兼診療記録管理者、奥田淳三医師（診療局外科医長）をコーディングに関する責任者とし、診療局3名（うち1名はコーディングに関する責任者）、看護部2名、医療技術部薬剤科1名、事務部情報管理課1名（委員長）の計7名、事務局は情報管理課情報係で、委託者は診療情報管理室（診療情報管理士）2名である。

今後に向けて

今後は、データ提出に必要な適正なコーディングを行うため「病名入力の見直しについて」周知徹底を行い、更なる適切なコーディングに向けた対策を実施していきたい。

Present status and future perspective of the committee for proper coding of diagnostic group classifications in Unnan City Hospital.

Yuji Hosogi

Committee for proper coding of diagnostic group classifications, Division of information management, Unnan City Hospital
Correspondence: Yuji Hosogi, Division of information management, Unnan City Hospital [96-1 Daito-cho Iida, Unnan, Shimane 699-1221, JAPAN]
Telephone: 0854-47-7500 / Fax: 0854-47-7501
E-mail: hospital-jouhou@city.unnan.shimane.jp